

「どろぼうがっこう」、人気作品ですね。観客の皆さんが、大人も子どもも一緒に楽しんでいらっしかったです。よかったですね。

みみずくの人形の出ハケを、「ホーホー」と言ってから去るのではなく、言いながら去るほうがテンポが良くなったと思います。みみずくだけでなく、それぞれの出ハケにも、妙な間が、そこここにありました。うまくテンポよく途切れること無くつなげれば、良くなったと思います。

登場人物たちが最初に登場するシーンでは、音楽もなく、でも変にノッていて、違和感がありました。

校長先生、声だけにして正解でしたね。見えない分、どんな怖い人だろう、どんな顔だろう、と、想像力をかき立てられました。

名前、それぞれ面白いのに、聞き取りにくかったです。初めの出席をとるところで、しっかりゆっくり紹介できていると、後がもっと楽しめました。

「うた」元気がなかったです。台詞はあんなに楽しそうなのに、歌と踊りは苦手なんでしょうか？ もっとはじけて欲しかったです。せっかく番人も一緒になって人数が増えているはずなのに、それが感じられず、もったいなかったです。でも、そこで、番人を出さないほうがよかったですと思います。その後で番人たちは初めて出てくるほうがインパクトがあったかと。。。それから、細かいことですが、踊るときは、笛は外したほうがよかったですね、目立ちました。

番人の衣装に工夫が欲しかったです。たとえば、権力を象徴する何かを少しつけるだけでも良かったのではないのでしょうか。

先生のツッコミが効いてました。「てへ」や「ちょうちょ」など、繰り返しも生きていました。関西人はこういうのが好きです。「ちょうちょ」は、「ちょおちょ」でなく「ちょうちょ」と発語したのはわざとですか？ わざとだとすれば、なぜですか？ 気になりました。

黒板の運び方、面白かったです。もっと手が届かないのを強調したほうがより面白くなったかとも思います。

抜き足差し足、ですが、しっかり声にしてるところとそうでないところがあったのはなぜでしょう？ 泥棒だから小声にしている、という風にも感じられませんでした。これも繰り返しですから、言い方はその都度違っても、しっかり声にしたほうがよかったですと思います。出演者に、ここは声出すの、出さないの、と迷いが感じられました。

全体的に、出演者それぞれに個性があり、楽しんで演じられていて、こちらも楽しめました。今後まだまだもっと深化させられると思います。楽しみです。